

# 平成 22 年度 第 2 回緑のまちづくり審議会議事録

1 日 時 平成 23 年 3 月 9 日(水) 15:00~17:00

2 場 所 北広島市消防本部 3 階防災研修室

3 出席者 委 員： 浅川昭一郎委員(会長)  
柿澤宏昭委員  
金子正美委員  
小屋亮子委員  
高橋裕委員  
松野敏委員  
村元邁委員  
山北雅宏委員

北広島市： 企画財政部長 岩泉功一  
(事務局) 都市計画課長 高橋孝一  
都市計画課 主査 川口弘恭  
主任 相木洋

(説明員) 農政課 主査 千葉直樹  
都市整備課 主査 藤縄憲通



千葉主査

道内、道外広い範囲で考えています。昨年もマップを作っていますが、まずは市内の方にこのような場所があることを認識していただいて、そのことによって、口コミ等で認識されるという考えがあります。おっしゃるとおり札幌近郊、札幌は人口が多いことですから活気づいて人がたくさん来れば、マスコミ関係にも、とりあげてもらえるのかと思っています。その波及効果を考えています。テレビ番組では土曜日にHBCであぐり王国北海道という番組が30分位の枠をとって農業を取り上げていますし、UHBではタカトシ牧場という番組で恵庭の牧場でロケをやっていますので道内のマスコミ、テレビ関係がかなり、注目しているかと思います。将来TV等で紹介させていただければ、いいかと思います。

小屋委員

要望ですが、いままで農村の旅行者の旅行形態は短期型が主流だったんですが、今後は長期型の旅行も増えることかと思っています。農村体験ですとか、このグリーンツーリズムをもう少し道外の方とか海外の方にPRしていただいて、北広島の立地条件を活かした千歳空港から近いことと、札幌からも近いこともあり観光客を集めるには、すごくメリットのある場所であると思います。温泉とか、大きいゴルフ場とか運動施設も北広島市では大事だと思っていますので、そのヘルスツーリズムとタイアップして、北広島市でグリーンツーリズムと合体させた観光と進めていくと、もう少しいろいろな方面に注目していただけるのではと思います。そのあたりは、市としてどうでしょうか？

千葉主査

委員がおっしゃったように観光が大きな産業で注目されつつあります。今現在、札幌広域圏組合という石狩管内の市町村が共同の一部事務組合がありまして、そのなかの札幌圏域のあいだでのツアー、観光に注目しています。見るだけでなく観光以外のいろいろなものをミックスしたなかで大曲地区が海外、東南アジアから非常に多く来られているということからもみて、いろいろな資源があるので、それらを活用して考え直そうという動きが始まっています。そういうところですので、今の考え方も含めて意識してやっていきたいと思っています。

松野委員

今の質問と関係していますが、これからは観光と説明がありましたが、そのために「食」で食べ物ですね。北広島の農業を中心としたマップは作っていますね。観光してもらうことを目的に、私たちの花の会のグループでは市役所都市整備課にお願いしてガーデニングのマップを作りオープンガーデンを毎年、また23年度も行う予定になっています。近郊、道内の方が北広島に来ていただくことを考えていくには、そういった観光を行政では非常に広く考えていかなければならないかと思います。だから今は農政課、都市整備課と別でマップを作っていますので一緒にできないかと思います。私は花の会を主宰していますが会員が170名位います。北広島市内でなく近郊の方も広く会員として募

松野委員

集していますので、交流があって今年も観光バスを出します。5日くらいの日程でバスを市役所から出してもらおうんですが、すぐに予約の電話が殺到していっぱいになります。それ以外に道外から観光バスが結構来ています。それは民間バスです。それくらい人気があります。花は6月7月せいぜい8月で終わってしまいますけれども、イチゴ狩りをしてゴルフをする、イチゴ狩りは6月の最初で花には間に合わないんですが、時期がちょっと合わなければ、ゴルフをしてホテルにでも泊ってもらって花を見るとか、そういう広く動きが入るようなものを考えていただければうれしいです。また、北広島だけでなく札幌圏というか観光マップを作って、オープンガーデンも6月7月ありますことを載せてください。そのことが観光客の増加にもつながると思います。

千葉主査

いただきました意見は、まさにその通りかと思います。そのように考えております。ただ役所だけが考えても、なかなか上手くいかない部分もあるかと思えますので民間の方の意見を聞きながら、ある部分では民間の方にお願いするなり、企画を持ち込んで民間にやっていただくのが良いかと思っています。

松野委員

やはり協働って方法がありますね。市役所も民間も共に予算がないんです。ですから、いかに市民と行政、民間とがタイアップしていくことが大切かと思えます。これから都市林の公園では町内会あるいは連合会に委託して皆でやっています。そういう意味では協働化していくことがあります。行政と民間にまかせるのではなく市民を巻き込むような方法ですので、ぜひご検討してください。

千葉主査

ありがとうございます。

柿沢委員

北広島市によるグリーンツーリズムを推進する仕組み、または、体制はどのように企画していますか？ヨソから学ぶとか実際に関わっている人の意見を聞いて推進するのが重要だと思いますがそのあたりの仕組みづくり、組織づくりとかあるいは推進体制づくりはどうなっていますか？

千葉主査

現在は考えているものがありまして、ここに載っているメンバーの方々は皆さんバラバラでやっています。現状で言えばイチゴ農園だけ集まって結構技術的な話だとかをする集まりが年に2、3回あります。その他は実際に集まって話すことはないです。その辺は一枚岩ではなく、なかなか難しいかもしれませんが共同で何かしていただいで活動していただく方が相乗効果によりレベルアップをしていけるのかと思っています。ですから、お互いの交流会のとっかかりついて市が入ってやっていきたいと思っています。

柿沢委員

それぞれ競争といった面もありますが、例えば技術の交流をしてかつ頑張っ

ていく感じが広がりを持ちつつ進められるのかと思います。

浅川会長

ほかに意見ありませんか？

金子委員

先ほどのホクレンについての話の中で、金額の中で実際にどれくらいの実績があるのか？あるいは将来的に2倍にするとか3倍にするとかその目標値みたいなものとか、あるいはキャパシティがどれくらいあるのかとかそのへんの数値的なものは何かあるのですか？

千葉主査

資料2で、お配りしている市町村計画があります。この中で計画しているのは、基本的に新しく作った施設の規模だけです。どのように持っていきたいかは、あくまでも資料2の6ページの下段に交流人口の具体的な達成目標ということで、平成27年に28万9千人と指定しております。20年度の分の比較で8万8千人に対して、先ほどの目標数値の20万1千人の開きがありますが、20年の計画に載っている人数があくまでも市街化調整区域の活動の規模ということで、実際には農協の直売所は市街化区域内での人数は入っていません。その人数の14万5千人くらいの規模を加えて、5万人くらい足したのが28万です。金額については定めていません。

金子委員

これは良い取り組みだと思うんですが、収支では、農家が農協に出した方がいいケースもありますが？どうでしょうか？

千葉主査

どれだけ売れるかによります。市場に出す方よりは当然大きいかと。

金子委員

こういうイチゴ狩りもそうなんですか？

千葉主査

イチゴ狩りの場合はパックを持ってイチゴ狩りをして600円で食べ放題ですが、必ず皆さんがおみやげを買っていくので、そっちの方が大きいです。普通のダイコンとか馬鈴薯はせいぜい10aあたり30万から40万です。イチゴの場合はおそらく皆さんの収支を見ていませんので推測ですが10aあたり100万円くらいあります。普通の作物3倍くらいあります。ただ期間が短いのと、一人当たりの経費はかかります。

金子委員

実際にお客さんの入りは？

千葉主査

そうですね土日と言えば入っています。平日にも老人介護施設等から、マイクロバスやワゴン車で車イスの方を連れたレクリエーションも増えつつあるというのがあります。

金子委員           あともう一点、先ほどの長期滞在が今は長沼あたりでは修学旅行生を呼びこ  
んで結構人が来ていますが、そのことは考えられないのですが？

千葉主査           北広島の場合ですが、当市の農家戸数がまず少ないということが挙げられま  
す。統計上は146戸という農家戸数ですが、この中で専業農家という本当に  
農業だけで食べている方は大体60戸あるかないかくらいです。

他の町村と比べると面積もそうですし戸数はとなりの恵庭と比べても3分  
1とか4分の1数です。そのため修学旅行生に来てもらうのは厳しいのかと思  
います。できても隣泊です。少人数の個人を対象とした団体を預かるのは現実  
的にはちょっと難しいと思います。

金子委員           逆に札幌のホテルに泊まっている修学旅行生を日帰りで連れてくるとか？

千葉主査           パターンのには考えられますが、農業体験といった農家がやっている作付け  
体験とかは手伝わせられない作物とかがありまして、体験用に場所があれば別  
なんですけど、どうしても作る人は作る一方と獲る一方というパターンが多くて  
難しいですね。そのような余裕がないのが現状です。

浅川会長           他に質問がないですか？

村元委員           この地図を見まして、車でこの場所に行こうとしても中々たどりつけませ  
ん。道路地図に合わせて全体で作ると分かりやすいんですが、大きくなります  
ね。羊ヶ丘通りから国道36号線にかけての輪厚、島松ですか、こちらにも結  
構果樹園がありますね。また道道274号線沿いの北の里から西の里にかけた  
の部分にもありますね。これらの大きな道路の路線をイチゴ農家のマップだけ  
でなく、付近の他の農家合わせて路線のブロックごとに特色をもったそれぞれ  
の地図を作って、路線のPRをすることができないものでしょうかね？

千葉主査           去年、マップを作る時にどうやって作ろうかということで、内部で意見を出  
し合って検討しました。そのなかで、もっと細かく道路地図にいろいろ入って  
いるものを作ったんですが、この数が多いものですから実際に非常にうるさく  
なってしまうと見づらく、一枚にまとめたくても現状はできない結果にな  
りました。そのため、一枚にするためにちょっと重ねた今の地図となりました。

村元委員           これはこれで良いんですが道路地図に合わせて、その路線だけ大きくするの  
はどうなんですか？大抵は車でいきますので、あっても市内の端から端まで行  
くこともありませんし、景色も一緒ですから。その近くに行った農園から、近  
くにあった島松の駅通所へついでに行くなど、これを見ながら車を運転して札  
幌から来るとかありますので、各路線の農業と観光名所の合わせたマップが

村元委員	できないでしょうか？
千葉主査	今のご意見を参考にさせていただきたいと思います。
村元委員	行くとしても1か所2か所なので、全体を1時間2時間も巡回するものではありません。その時に近くの花だとかPRできるものがあれば、他も寄ってもらえます。でも地図を作るのは大変なので、そのような意見が多くありました検討してください。
山北委員	北広島市の米の作付面積と収入はどれくらいになりますか？
千葉主査	米につきましては北広島のなかで約160ha 水張面積がございます。農業生産者価格、農家の方が出したお金が約1億3千万から4千万くらいです。ですから表にあります、10分の1位が、10パーセントくらいが米となっております。先ほど申し遅れましたが、お手元に寒地稲作発祥の地ということでご承知の通り明治6年に中山久蔵が寒地の稲作を成功させた北広島にちなみまして、こちらでチラシを作り資料を配布しました。これも北広島のひとつのPRするものということに認識しております。なにかどこかでどなたかに会われたときには、このようなものがあることをご紹介いただければと思います。
浅川委員	<p>大変活発なご質疑をいただきありがとうございます。北広島らしいグリーンツーリズムを進行してください。花ですとか健康づくりですとか他のことに関連した独自のグリーンツーリズムを、つくることがより将来性があると感じました。そのためにも分かりやすく選択肢のある楽しい体験ができるような方向が良いと思います。そのための体制づくりも大切かと思えます。よろしく願いします。</p> <p>それでは続きまして2番目の説明事項にあります都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業であります。藤縄主査をお願いします。</p>
藤縄主査	(案件説明)
村元委員	ワークショップで散々話していて充分話が伝わっていますが、私の話としては公園の隣接地の管理のことです。公園はリニューアルして新しくなることは良いんですが、公園と接続する隣接地の木や草が伸び放題であったり、ほったらかしになっていますので、すぐにはできませんがどうかしてほしいと話しております。
山北委員	私どもの住んでいる青葉町2丁目ですが、青葉町3丁目の間にバラ公園があります。スベリ台がひとつ、ブランコ、砂場があります。その中に鋼材で街灯

山北委員 　　が2灯あります。そのうちの1灯が根元の足が腐食して今にでも壊れるような状況でありました。これは表に草が生えていまして長い間わからなかったのが原因でした。危険だということで市の都市整備課に連絡して直すことになりました。草木の管理があれば分かることなので検討してください。

浅川会長 　　他に何かありますか？

高橋委員 　　北広島の道営の団地の中の公園が一番老朽化しています。沈んでいる感じがします 30 数年になりますので。少子高齢化で子どもの数が相当少なくなり学校の統廃合も進んでいますので、これらの公園の遊具については、どのように交換していく考えですか？

藤縄主査 　　北広島市では新設の公園も、このように老朽化している公園にリニューアルをかける場合も、地域の方にどのようにしていきましょうかと必ずご意見を伺うようにしています。おっしゃっていますように、少子高齢化で今は休憩施設、先ほどありましたあずまやですとかベンチ、こういうものを付けて欲しいというご要望が非常に多くなっています。確かにおっしゃるようにお子さんの数は減っておりますが、このまま減り続けるものではないと考えます。逆に私の友人がそうなんです北広島の緑がいいとかということで北広島市に住むという方もいました。逆に言うと今望まれているものが確かに休憩施設が多いのかも知れませんが、これから若い人イコールやはり今はお子さんが少なくとも遊具施設をある程度整理しておく必要が行政としてはあると考えています。ですからバランスをとりながら現状の認識をして、それから要望されるもの、その辺のバランス感覚をとりながら住民の方とお話をして、望まれる公園を作っていくと考えております。

浅川委員 　　大変難しい考えだと思います。国土交通省の技術基準からすれば、老朽化した遊具からの事故も多くなってきているということで立ちあがった事業だろうと思います。遊具を更新していくのがベースではあると感じますが、先ほどの整備の中の話ではあくまで、地域の方々のご意見を聞きながらかなり大きく変えてしまうことであるようにうかがっていましたので、それはそれで結構かと思えます。私が言いたいことは、昨年ある札幌市のあるグループのワークショップに参加させてもらった時に、高齢者の参加が多かったためにパークゴルフ場を造って欲しいとの意見が多くありました。中には子どもさんは少なくなったけれども、子どもさんが遊びにきてもらうためには遊具をちゃんと整備しなければいけないという意見もありました。その辺は先のことを考えながら、使われている方々の要望を聞きながらも再整備的な視点を入れて検討されることがよろしいかと思えます。

次に、会議次第 6 番目の「その他」について事務局より説明をお願いします。

川口主査

その他の（１）としまして、お手元にお配りしております北広島市東の里地区の遊水地の資料ですが、これにつきましては、前回の審議会の中で村元委員より遊水地事業についてどのような形で進んでいくのか説明して欲しい旨のご意見がございましたので、今回資料としてお配りしております。

なお、この資料につきましては、平成 17 年 4 月の石狩川水系千歳川整備計画策定から、平成 22 年度における利活用検討懇話会の開催に至る経緯等をお示した資料となっております。

今後におきましては、遊水地の工事着手から完成まで 10 年程度を要するとしており、今後国において用地取得後に地質調査等を実施し、ゾーンごとの面積や表土の取扱いなどを決めていくこととしておりますので、北広島市といたしましては、国の動向と整備の進捗状況を見ながら推進計画を策定することとしております。

次にその他の（２）の平成 23 年度の緑のまちづくり審議会の開催予定につきましては、まだ具体的な日程は決めておりませんが、23 年度内におきまして審議会の中でご意見等をいただき、緑の基本計画の見直しを行ってまいりますことから、新年度に入りしだい適宜ご案内をしてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

浅川会長

只今の事務局の説明につきまして、何かご質問等があれば挙手願います。

村元委員

千歳川遊水地事業計画に関わる他の方 4 市 2 町ですが、どんな計画ができていて、工事がどのように進む予定ですか？

高橋課長

このことについては、建設部庶務課が窓口になりまして詳しい部分は私ども聞き伝えの部分で説明します。今見られていますゾーニング部分については基本の考え方という取りまとめをしております。ただ細かいことも開催した中で具体的にパークゴルフ場やサッカー場などのご提案をいただいておりますが、実はこの場所については湿地帯といえますが軟弱地盤で地盤支持力が非常にない地域でございます。札幌開発建設部が土質調査を一部行っていますが具体的に行っていくなかで本当に活用できる範囲がどこまでなのかとの問題が実はあります。全てが決まるということではなくて、ゾーニングしたこの形が良からうという市の方針は示していますが、個別具体的な、例えば市民が多目的に利用するゾーンを具体的な緑でどのようにしていくかとのことについては今後推進計画と市民の皆さまのご意見を聞きながら作っていく予定とされているので、札幌開発建設部が進める工事の土質調査と造成計画の詳細と並行しながら決めていく予定と聞いております。

金子委員

自然観察ゾーンの部分についての道の利活用ですが、植物の景観や学習観察の場として活用すると書きながらも他の活用法について検討すると、なかなか

難しい日本語で書かれています。実は北広島市の土地、植生変化などをみますと明治、大正時代にたぶん、湿原が残ったのはここだけでした。北広島市の場合はかなり変わってしまっているイメージはあるんですが、例えば平岡の公園も一回水田になって、その後、湿原で復元もしていきました。北広島の先ほどのお米の話がありましたけれど、そのような意味で環境のいわゆる原風景を伝えるひとつ典型的な場所である気がするので、自然再生というような観点をこの地区の整備をされてはいかがかと思います。このような場所がパークゴルフ場になるのは少し寂しい気がします。

高橋課長

今の表土ですが、実際には調整池の池が主ですから掘ります。掘って穴を作ってその残土を利用して盛土をして堤防をつくります。今行っている土質調査の結果からすると、一番出てくる部分はすごく柔らかい層になりそうということ。そのため、土地利用の構想にもなっているんですが柔らかいため人が入れるような状況になるかどうかもあります。今後、札幌開発建設部が詳細なボーリング調査をして、それから運動計画、土の造成計画とも並行して行うので、そこが水生植物を植えて影響があるのかどうなのかも、まだ不確定ですから…。

金子委員

たぶん昔の地図を見るとこの場所は湿地ですよ。

高橋課長

泥炭層がものすごく厚く、札幌開発建設部は土壌改良をしませんので、そのままの状態になります。ですから、ある程度人なり土地利用するためには覆土する必要があります。また、土壌改良費用は市が負担してくださいといっていますから、どこまでお金をかけて公園化するかという課題があり…。

金子委員

かなり難しいですね。もともと泥炭ですが、水位自体はちょっと低くなっているから湿原を再生するためには、下に遮水シートを入れて水位を上げるような工夫をしないと、お金もかなりかかりますね。平岡はわりとやられていますよね、あのようなことをするにはお金がかかる気がしますね。

高橋課長

これだけ広い面積ですから全面というのは、なかなかお金も含めて難しいと思います。札幌開発建設部は調整機能が主ですから、機能を阻害してまでは考えていません。ひな段のように掘り方が変わりますので、一番深い常に水のたまる所は土地利用が難しいかと思います。ただし、雨が降ってやっと水が入る所については普段はドライですから、そこは工夫するかも知れませんが、そのような計画はこれからかと思います。

浅川委員

水が溜まらない場所ならば、自然の形態を活かせるような部分があっただけいいと思いますし、現状にある植物リストを作って残せるものは保存しておいて、

浅川委員                   あるいは後で移植するようなことができるかと思います。利用するだけでなく復元的な視点も検討課題にさせていただいて、少し慎重に扱った方がいいと思います。せっかくの面積のある昔からの湿原ですので。

村元委員                   先般、この検討委員会のメンバーから意志表示してもらった中身は、パークゴルフ場とか漠然としていまして、検討委員会からは最終的に23年3月までに活用計画が決まると聞いていましたが…。

高橋課長                   活用計画はこれです。ゾーニングについては施設が決まっていなくて分かりませんが、具体的な部分については今後推進計画の中で作り上げていくと聞いています。ですから、これが計画だと思われるかもしれませんがおおざっぱなものです。

村元委員                   もともと調整池ですので全部水没する可能性がありますね。このゾーンだけ堤防の高さと同じ程度にするのですね。堤防から自然観察ゾーンは確実に低いですね。水は常時溜まっている部分もある可能性があって公園としての位置づけはないんですかね。

高橋課長                   公園指定の可能性については、今後の計画メニューによるかと思います。

村元委員                   この活用計画で決定するものですか？

高橋課長                   おおざっぱなものです。札幌開発建設部はいろいろと国の土地利用を市町村に考えていただく方針ではありますが、現実はいろいろと工事が進捗して行けば行くほど使える場所が少なくなる状況を聞いていますので…。

村元委員                   堤防が一番高いんですね。札幌のモエレ沼公園みたいにはならないんですね。ほかダメですね。

高橋課長                   費用の関係を含めて見えない部分があるものですから、それらの状況を踏まえながら本当に利活用できるゾーンを絞り込んで、自然観察も含めて何が一番いいのかを具体的に進めていきます。ただゾーンとしては、この緑色に塗った部分が高さ的に使える範囲かと絞り込みをしたということです。

浅川会長                   その他ご質問ございませんか？なければ以上で、本日の審議会の日程がすべて終了いたしました。

                                  皆様には本日の会議の進行にあたり、ご協力をいただき誠にありがとうございました。

高橋課長

本日は、長時間にわたり、ありがとうございました。

以上をもちまして、本日の第2回「北広島市緑のまちづくり審議会」を終了させていただきます。ありがとうございました。

○ 議事録署名委員

氏名	高橋 裕	
----	------	---

氏名	小 屋 亮 子	
----	---------	---